

# 船 舶 明 細 書

年 月 日 現在

船 名 <small>(ローマ字をつけること)</small>		丸		所 有 者 住所氏名							
船 籍 港		船 舶 番 号		信 号 符 字							
資 格・船 級		航 行 区 域		用 途							
総 ト ン 数		T 純トン数		T 重量トン数							
満 載 排 水 量		t 軽荷排水量		t 載 貨 容 積		ボール m <sup>3</sup>		グレーン m <sup>3</sup>			
満 載 航 海 速 力		kn 最 高 速 力		kn 使 用 航 路							
製 造 年 月 日		起 工 年 月 日		進 水 年 月 日		竣 工 年 月 日					
製 造 所 名 称 所 在 地		船 体		主 機		製 造 年 月		年 月 日			
次 期 検 査 期 日		中 間 検 査		平 成・西 曆 年 月 日		定 期 検 査		平 成・西 曆 年 月 日			
船 体	船 質			船 型			構 造 種 類				
	建 造 番 号	No.						甲 板 総 数	前 後 層 層		
	寸 法	全 長 m		登 録 長 m		垂 線 間 長 m		幅 m 深 さ m			
	平 均 喫 水	満 載 m		空 船 m		軽 荷 m					
機 関	主 機	種 類		形 式・数		x		連 続 最 大 力 馬 力 x			
		製 造 番 号		No.							
	補 機	種 類		形 式・数		x		出 力 馬 力 x			
一 昼 夜 当 り 燃 料 消 費 量	航 海 重 油		kℓ t		軽 油		kℓ t		養 灌 水 kℓ t		
揚 貨 装 置	艙 口 寸 法	No.1 m x m		No.2 m x m		No.3 m x m		No.4 m x m		No.5 m x m	No.6 m x m
	ウ イ ン チ	t x		t x		t x		t x		t x	t x
	ク レ ー ン	t x		t x		t x		t x		t x	t x
	デ リ ッ ク	t x		t x		t x		t x		t x	t x
	荷 油 ポ ン プ	種 類・形 式・能 力・数									
設 備	無 線 装 置	送 信 機		短・中 短・中・長・長 中		受 信 機		短・中 短・中・長・長 中		無 線 電 話 S S B・D S B V H F	
	汽 罐 及 び 制 限 汽 圧	主 罐 形 式・数		kg x		補 助 罐 形 式・数		kg x			
	タ ン ク 容 量	燃 料 油		kℓ t		清 水		kℓ t		そ の 他	
	航 海 機 器 等	レ-ダ-・ロ-ソ-音響測探機・方向探知器・気象通信機受信装置・船艙乾湿調整装置・主機遠隔操縦装置・主機自動制御装置									
最 大 搭 載 人 員		乗 組 員		職 員		部 員		旅 客			
海 上 保 險	船 体 保 險 費	千 円 米 ド ル		保 險 金 額		千 円 米 ド ル		保 險 料 率		填 補 範 圍	
	船 費	千 円 米 ド ル		保 險 金 額		千 円 米 ド ル		保 險 者 名		被 保 險 者 名	
備 考											

記載事項

- (1) 漁船は、航行区域欄に従業制限を記載すること。(2) 用途欄は、客船、貨物船、油槽船等の別を記載すること。
- (3) 使用航路欄は、従来主として就航した航路又は区域を記載すること。(4) 船型欄は、平甲板、凹甲板、三島型等の別を記載すること。
- (5) 構造種類欄は、鋼船は重構船、軽構船、木船は重甲板船、軽甲板船の別を記載すること。
- (6) 機関種類欄は、ディーゼル、焼玉、タービン、レシプロ、電気推進の別を記載すること。
- (7) 機関型式欄は、三菱長崎9UEC85/160、2段減速装置付、3聯成冷気式等の別を記載すること。
- (8) 各種計量単位は、計量法の規定によりTは容積トン、tは重量トン、mはメートル、knはノット、kℓはキロリットルを表示する。
- (9) 無線装置及び航海機器記入欄は、該当文字を で囲むこと。